弁才船の船体と上廻りの変遷

参加費無料

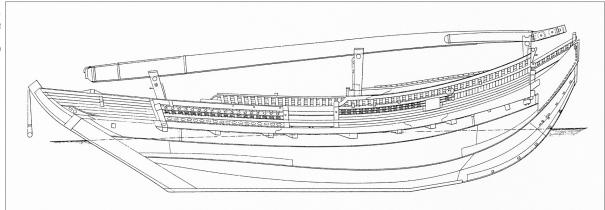
■講師:安達 裕之

2022年11月26日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催(ルームオープン 13:30)



『厳島遊楽図屏風』に 描かれた弁才船 (東京国立博物館蔵)

明治21年の 1500石積弁才船 (F.E.Paris, Souvenirs de Marine, vol.6)



慶長期の『厳島遊楽図屏風』(東京国立博物館蔵) に登場して以来、明治時代まで 弁才船は国内海運の主力として活躍した。船体の基本構造こそ変わらなかった ものの、3世紀の間に船体と上廻りは様々に変化した。パリの図面集 (F.E.Paris, Souvenirs de Marine, vol.6) に載る明治21年 (1888) の1500 石積弁才船の淵源が 『厳島遊楽図屏風』の船にあろうとは誰も思うまい。

本報告では弁才船の船体と上廻りの変遷を概観することにしたい。

■安達 裕之 (あだち ひろゆき) 日本海事史学会会員

1947年大阪市生まれ、1972年東京大学 工学部船舶工学科卒業、同教養学部に 勤務して、2012年に退職。東京大学名誉 教授。専門は日本造船史。

おもな著書:『異様の船-洋式船導入と 鎖国体制-』(平凡社、1995年)

- ●関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。 メールでお申し込みください。
 - ※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。 お申込みいただいた方には11月23日(水)までにご連絡いたします。
- ●会員にはメールでご案内をお送りしています。

メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

- ■申込〆切:2022年11月22日(火)正午(12:00)
- ■申込先:kaijishi.web@gmail.com(担当:大野)

メールの件名を「日本海事史学会Web例会申し込み(非会員)」 として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日:2022年12月17日(土)・2023年1月28日(土)・2月18日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の"場"です。

【主な活動】 専門学術誌 『海事史研究』 の発行 (年1回) /総会 (年1回)・例会 (8月と総会開催月を除く年10回) など

日本海事史学会 The Japan Society for Nautical Research

ご入会随時受付中

https://kaijishi.jp/

